

製品名: NF-E4 (アセチル Lys43) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06229**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	アセチル化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	19kDa

抗原情報

遺伝子名	NFE4
別名	NFE4; Transcription factor NF-E4
遺伝子 ID	58160.0
SwissProt ID	Q86UQ8
免疫原	K43 のアセチル化部位の周囲にあるヒト NF-E4 から派生した合成アセチルペプチド。

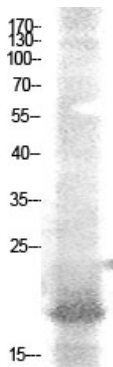
背景

この遺伝子によってコードされる赤血球特異的タンパク質と普遍的な転写因子 CP2 は、ステージセクタータンパク質 (SSP) 複合体を形成し、胎児赤血球細胞におけるガンマグロビン遺伝子の優先的な発現に関与しています。上流の非 AUG コドン (CUG) と下流

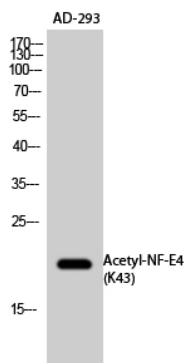
の AUG コドンがインフレームで交互に使用されることで、2つのアイソフォームが生成されます。長いアイソフォーム (22 kDa) は活性化因子として作用しますが、短いアイソフォーム (14 kDa) はガンマグロビン遺伝子の発現を抑制することが示されています。この遺伝子は、FBXL13 遺伝子の反対鎖のイントロンに位置しています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能:SSP (ステージセクタータンパク質) 複合体の一部として機能し、ガンマグロビン遺伝子と遺伝子座制御領域 (LCR) に含まれるエンハンサーエレメントとの相互作用を促進することで、胎児赤血球細胞におけるガンマ遺伝子の優先発現に寄与する。複合体は、近位ガンマグロビンプロモーターのステージセクターエレメント (SSE) に結合します。対照的に、アイソフォーム 2 は、プロモーターへの NFE2 および RNA ポリメラーゼ II のリクルートを阻害することで、ガンマグロビン遺伝子発現のリプレッサーとして機能します。 ,PTM:Lys-43 のアセチル化は、ユビキチンを介した分解を阻害することでタンパク質の半減期を延長し、NF-E4 と HDAC1 の相互作用を減少させ、ガンマプロモーターにおける因子の活性化能力を最大限に高める可能性があります。 ,PTM:ユビキチン化;プロテアソームによる分解につながる。 Lys-43 のアセチル化はユビキチン化を阻害する。 ,配列注意: 異常なイニシエーター。イニシエーターメチオニンは、非標準的な CTG ロイシンコドンによってコードされている。 ,サブユニット: SSP (ステージセクタータンパク質) 複合体の構成要素で、TFCP2 と 2つの NFE4 のヘテロマーと考えられる。 HDAC1 および PCAF と相互作用する。アイソフォーム 2 は TFCP2 と相互作用する。 ,組織特異性: 胎児肝臓、臍帯血、骨髄で特異的に発現する。胎児グロビン遺伝子を恒常的に発現する K562 細胞株および HEL 細胞株でも発現する。 ,

研究分野

画像データ



アセチル NF-E4 (K43) ポリクローナル抗体を用いた AD-293 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



アセチル NF-E4 (K43) ポリクローナル抗体を用いた AD-293 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。

